

■ 堆肥舎での使用方法

- 1 未発酵の堆肥（ふん＋敷料）に、リサールSEを1.0～2.0Kg/t 散布し、攪拌混合して堆積させます。
- 2 堆積途中では1ヵ月に1～2回ほど、水分調整（ムラを無くす）のための切り返しを行なってください。
- 3 発酵熱は従来に比べると10～20℃ほど低いのが特徴で、アンモニア臭（刺激臭）などの嫌な臭いは激減しています。
- 4 堆積して約2ヵ月以上が経過したら、ほ場にすき込みすぐに作付けすることもできます。



■ 貯留槽（ピット）での使用方法

- 1 貯留槽には、リサールSEを500～800g/m³投入し、できるだけ攪拌混合をします。
- 2 投入後、2～3週間位経過すると流動化現象が見られ、アンモニアや硫化水素などが減少し、冬期期間でも気温の影響を受けずに発酵が持続します。
- 3 スラリーの流動化によって汲み上げがスムーズとなり、ほ場への散布作業も悪臭の拡散を気にすることなく処理できるようになります。
- 4 リサールSEの混ざっているスラリーは、良質な液肥として多くの作物に有効利用することが可能です。ただし、家畜の種類によっては、肥料成分が異なり若干の調整が必要となります。



※使用方法・効果などについてご不明な点は、事前に当社まで直接お問い合わせください。

■ 製造元

リサール酵産株式会社

〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-110-12
TEL 048-668-3301 (代) FAX 048-668-3315
<http://www.resahl.co.jp/>

☎ 0120-120-612

畜産用 悪臭対策・発酵促進資材

リサールSE

牛・豚・鶏 共通



複合微生物資材「リサール® SE」

リサールSEは、複合微生物による畜産用の悪臭対策・発酵促進資材です。
酪農（フリーストール、自然流下、バンククリーナー方式）・肉牛のほか、養豚（スノコ、踏込み式）・養鶏（平飼い、低・高床式）など様々な場合の、ふん尿処理に使用できます。



NET. 5kg × 4 袋 /20kg

リサール酵産株式会社

より快適な畜産環境をつくるために〈自然リサイクル型〉 ふん尿処理作業の省力化 悪臭防止と良質堆肥の生産

■ リサール®SEの使用方法

① 初回の使用量

畜舎内での速やかな発酵と、悪臭防止のために初回だけは下記の量を使用します。
なお、使用にあたっては米ヌカで2～3倍程度に増量するとまきやすくなります。

- 1 畜舎内のふん尿による汚染場所にリサールSEを30～50g／㎡使用します。
- 2 貯留槽にリサールSEを500～800g／㎡投入します。



② 日常の使用量（1頭／1日当たり）

区 分		使 用 量	使 用 場 所
牛	成 牛	5～7g	ふん尿溝（ふん尿落下部分）、 牛の通路、牛床全面のいずれか
	子 牛	3～4g	
豚	成 豚	3～4g	ストール全面、豚床全面のいずれか
	子 豚	2～3g	
鶏	成 鶏	2～3g／㎡	鶏舎床面（鶏ふん堆積部分）
	育成鶏		

注）家畜の種類や年齢によって使用量や使用方法が異なりますのでご注意ください。

■ リサール®SEの効果

① 畜産生産環境の改善と環境汚染の防止

- 1 悪臭（アンモニア、硫化水素など）や害虫（ハエ、ウジ）の発生を抑えます。
- 2 ふん尿処理作業の労働環境を改善し、畜舎内外・堆肥舎の環境汚染を軽減します。
- 3 家畜のストレス要因を軽減し、畜舎内・貯留槽などの微生物環境を改善します。

② ふん尿処理作業の省力化とコストの低減

- 1 スカムを解消、スラリーの流動化（固形沈殿物の軟化）により、ポンプでの汲み上げがスムーズになって、散布時における悪臭の拡散を解消します。
- 2 有益な複合微生物の発酵分解により、切り返し・攪拌・通気・曝気などの作業が大幅に削減できて、省力・低コストでの処理が可能となります。
- 3 畜舎内で善玉の微生物を発酵増殖させ、悪い酸化腐敗を抑制して、敷料の交換サイクルを伸ばすことができます。
- 4 堆肥の生産・貯蔵期間が短縮でき、処理施設や管理維持費を大幅に削減できます。また、良質堆肥の生産へとつながります。

③ 土壌改良・作物の生産性を向上

- 1 発酵期間が短くても（中熟や未熟堆肥でも）多くの作物に発酵障害なく使用できます。
- 2 作物の生育促進・根の活性化・根張りが良くなるなど、土づくりの効果を発揮します。
- 3 糖度アップによる自給飼料の嗜好性や安全性が向上し、収穫物の日保ちも良くなります。
- 4 リサールSEで発酵させた堆肥や液肥を使用することで、化学肥料の節減効果が期待できます。



◆使用上の注意

- ①本資材は、家畜ふん尿処理目的の微生物資材です。ふん尿の上や堆肥舎内・貯留槽で使用し、家畜には絶対与えないください。
- ②保管は冷暗所をお願いします。また、飼料や飼料添加剤などと区別し、これらへ混入することのないよう充分注意し、1年以内に使いきるようにしてください。
- ③事故防止のため幼児の手の届かない場所に保管してください。
- ④本資材をまく時はゴーグルやマスクを着用し、本資材使用後は手洗い・うがいをしてください。
- ⑤本資材が目に入った場合は、擦らずに流水で十分にすすぎ、症状によっては医師の診断を受けてください。